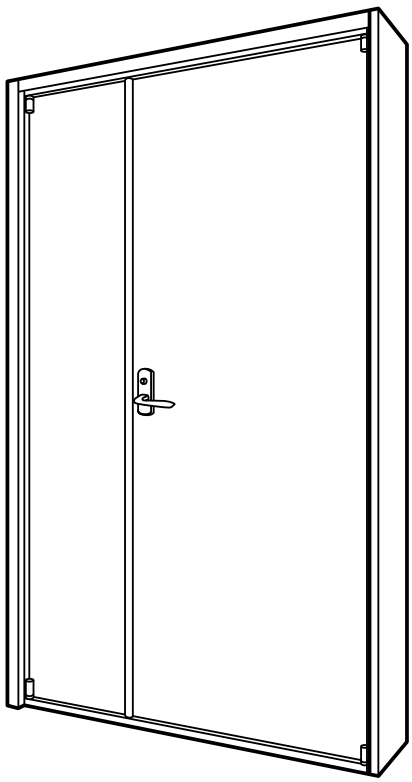
アメニティデザイン企業

DAIKEN

施工後、必ずお施主様にお渡しください。

施工説明書
取扱説明書

ダイケンリビングドアRⅢシリーズ
親 子（ピボット丁番）
（見切枠・固定枠154/169・薄壁枠）



この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
又、使用後は必ずお施主様にお渡しください。

大建工業株式会社

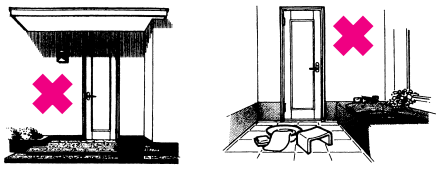
R3-OYP-090804

必ずお守りいただきたいこと

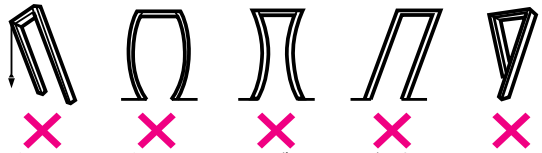
⚠ 施工上注意

ダイケンリビングドアを長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

●このドアは一般住宅用の室内用ドアです。
他の用途へのご使用はおやめください。

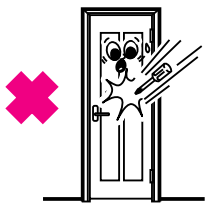


●枠の水平・垂直を確認してから取り付けてください。
――扉が閉まらない原因となります。

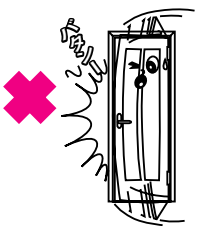


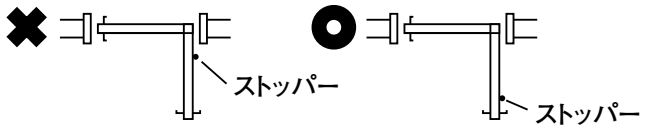
●沓摺、敷居をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、沓摺、敷居と床面の間に必ず防水処理をしてください。

●扉・枠及び金具、ガラスに工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。
――傷をつけるおそれがあります。



●風の強い地域や、吹き抜け、高層階でガラスドアを取り付ける場合、ドアストッパーをご使用ください。
――強くドアが閉まると衝撃でガラスが割れるおそれがあります。
――ドアストッパーを取り付ける場合、ドア先端部に取り付けてください。



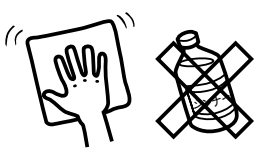


●工事が完成するまでの間、扉は壁にたてかけて保管しないでください。

●照明灯、ストーブ等を近づけすぎないでください。
――熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

お　手　入　れ　の　方　法

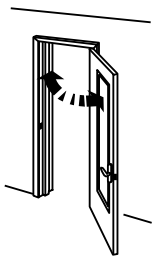
●扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。



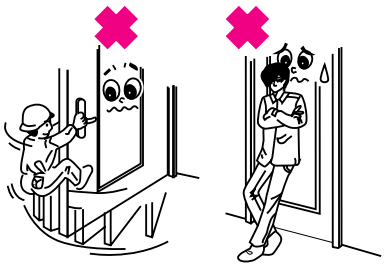
⚠ 使用上注意

本製品を安全に、また末永くご愛用していただくためにご使用前に必ずよく読み、正しい使用法・使用上の注意事項をよく理解してください。この取扱説明書は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

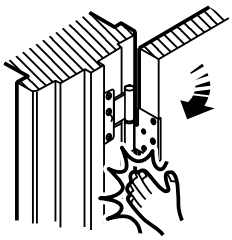
●扉の開閉は、静かに行ってください。
乱暴に扱うと扉が破損したり脱落する恐れがあります。



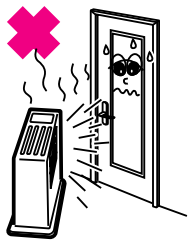
●扉の把手にぶら下ったり、扉にもたれたりしないでください。扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



●扉に指をはさまないよう把手を持って正しく操作してください。特に小さなお子様には十分ご注意ください。



●ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。

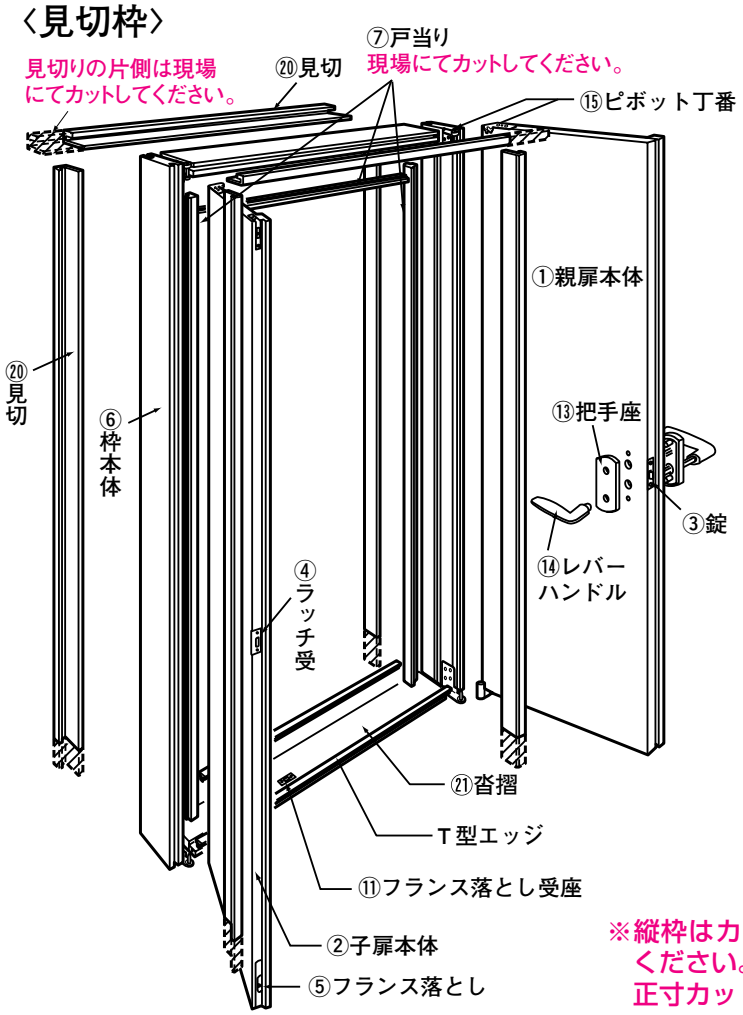


●ガラスに強い衝撃を与えたり物をぶつけたりしないでください。ガラスが割れるおそれがあります。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。

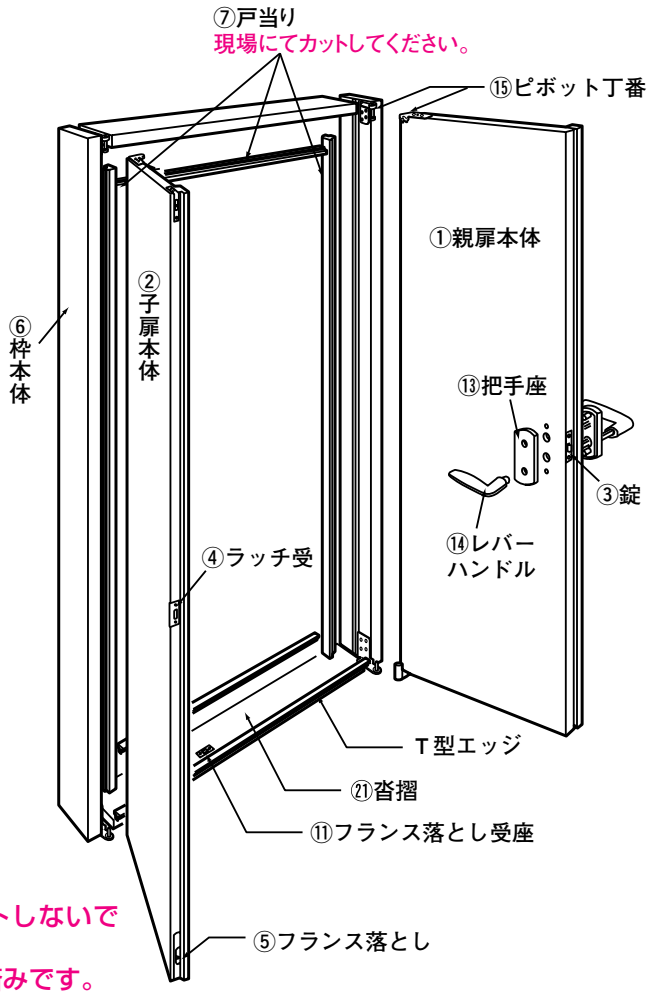
’09. 08. 04

全 体 図

〈見切枠〉



〈固定枠154/169・薄壁枠〉



※縦枠はカットしないで
ください。
正寸カット済みです。

	部品名称		数量	備考
扉セット	①	親扉本体	1	
	②	子扉本体	1	
	③	錠	1	親扉に取付済
	④	ラッチ受け	1	子扉に取付済
	⑤	フランス落とし	2	子扉に取付済

	部品名称		数量	備考
枠セット	⑥	枠本体	1	3方枠（縦枠2　上枠1）
	⑦	戸当りセット	縦用 2 横用 1	縦用 クッション無：2本 横用 クッション有：1本
	⑧	金具セット 枠組立ビス	4	φ4.2×50
	⑨	金具セット 枠調整ビス ※薄壁枠には同梱していません	10	φ5.3×55
	⑩	金具セット 戸当り用接着剤	2	
	⑪	金具セット フランス落とし受座	2	取付ビス　φ2.7×16
	⑫	施工説明書・取扱説明書	1	必ずお施主様にお渡しください。

	部品名称		数量	備考
把手セット	⑬	把手座	1	
	⑭	レバーハンドル	1	

	部品名称		数量	備考
丁番セット	⑮	丁番	4	上用・下用 左右各1set
	⑯	固定カバー	2	
	⑰	樹脂キャップ	2	
	⑱	丁番取付ネジ（扉側用）	8	M6×35 ※ワッシャー付き
	⑲	丁番取付ネジ（枠側用）	16	M4×23

	部品名称		数量	備考
見切セット	⑳	見切	縦用 4 横用 2	＊壁厚に合わせてサイズをお選びください。 ＊固定枠154/169・薄壁枠の場合は必要なし

	部品名称			数量	備考
親子沓摺セット	㉑	沓摺	T型エッジ親子沓摺本体	1	見切枠・固定枠154/169に対応
			T型エッジ	2	
		薄型親子沓摺本体		1	

必要梱包

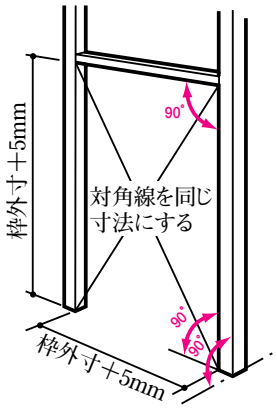
見切枠　⇨ 扉セット＋枠セット＋把手セット＋ピボット丁番セット＋見切セット＋親子沓摺セット
固定枠154/169 ⇨ 扉セット＋枠セット＋把手セット＋ピボット丁番セット＋親子沓摺セット
薄壁枠　⇨ 扉セット＋枠セット＋把手セット＋ピボット丁番セット＋親子沓摺セット

’09. 08. 04

準 備

◆開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。

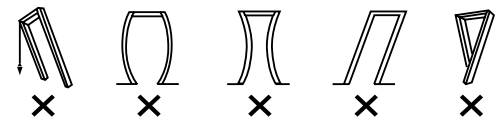
※扉が換気経路になる場合は高さの寸法が変わります。詳細は図面を参照してください。



⚠注意

柱の垂直・床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。

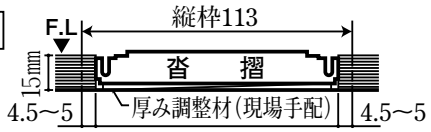
※柱、床、まぐさの水平、垂直がでていないと下図の原因となります。



梱包を開けて部品を確認してください。

T型エッジ沓摺・床見切を使われる場合は下図を参照してください。（見切枠・固定枠154/169）

見切枠

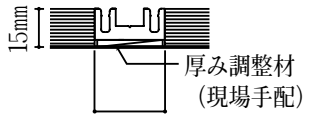


外寸法は102mmですので103～104mmを目安にあけてください。

⚠クッションフロア（CF）などのクッション性のあるフロアを使用される場合はT型エッジ沓摺を使用しないでください。

床見切を使われる場合

※フランス落とし受けが床見切に取り付けできないので扉と反対側へ取り付けてください。

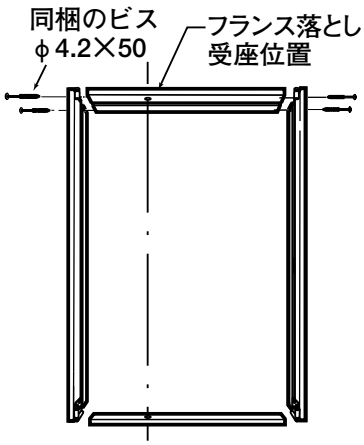


外寸法は26.8㎜ですので28～30㎜を目安にあけてください。

施工の前に

フランス落とし受座の向きに注意して、枠を組み立ててください。

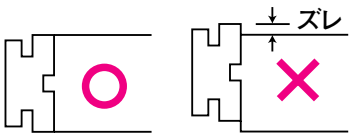
※同梱のビスを使用してください。



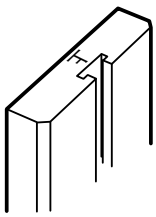
⚠縦枠はカットしないでください。正寸カット済みです。

見切枠の場合

縦枠と上枠にずれがないことを確認してください。



⚠縦枠木口に上の印がある方が上です。

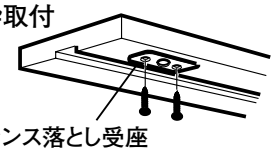


⚠注意

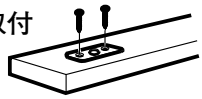
沓摺の納めは後方のページの納まり図を参照ください。

上枠・沓摺にフランス落とし受座を取り付けてください。

上枠取付



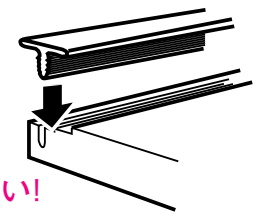
沓摺取付



※T型エッジ親子沓摺はT型エッジをはめた後、フランス落とし受座を取り付けてください。

T型エッジ沓摺の場合

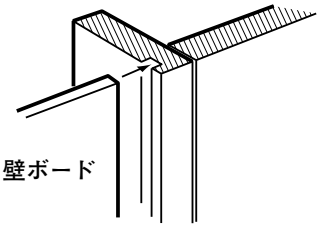
※ T型エッジを差し込まないでください。
（施工後に差し込みます）



差し込まない!

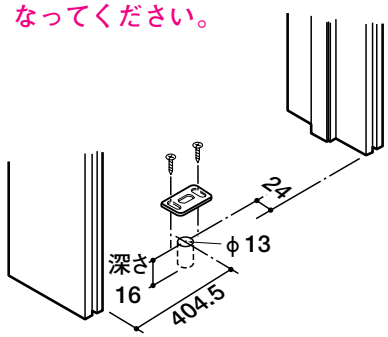
固定枠154/169･薄壁枠の場合

必要に応じて枠の裏側に壁ボードの溝加工を行なってください。



床に図の加工を行いフランス落とし受座を取付けてください。

⚠開口部に枠を取り付けた後に行なってください。



’09. 08. 04

施工手順

1 開口部への枠の取付

※薄壁枠には枠調整ビスを同梱していません。開口部への取付ビスは現場で手配してください。

①枠を開口部にはめこんで親扉側の枠の上側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠調整ビスで仮固定してください。

⇩

②下げ振りを使って垂直をだしてから、親扉側の枠の下側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠調整ビスで仮固定してください。

⇩

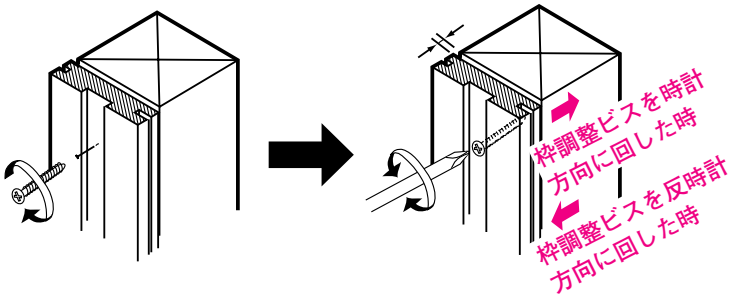
③水準器で上枠の水平を見ながら子扉側の枠の上側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠調整ビスで仮固定してください。

⇩

④下げ振りを使って垂直をだしてから、子扉側の枠の下側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠調整ビスで仮固定してください。

⇩

⑤枠の左右調整は次の様に行ってください。



(1) まず枠調整ビスで枠を固定します。

(2) 枠調整ビスを回すことで、柱と枠の間の隙間を調整することが出来ます。

⚠ 注意

枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。
電動ドライバーを使用すると、ビス頭がつぶれ調整ができなくなります。

⚠ 注意

調整丁番は施工後の経時変化のための微調整ですので枠の調整はしっかり行ってください。

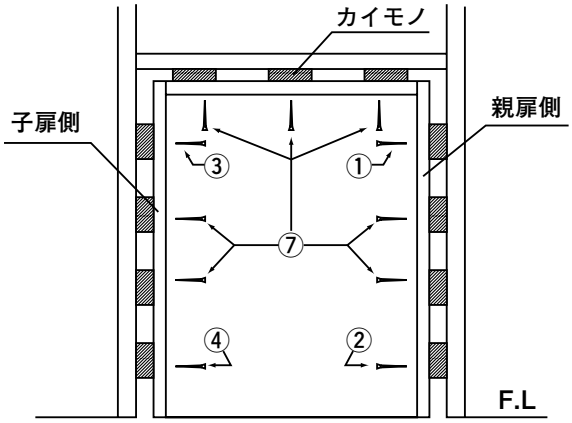
⇩

⑥調整後、枠調整ビスの上下に木工ボンド（現場手配）を塗ったカイモノ（幅＝柱幅程度 × 高さ＝100ミリ以上）を入れてください。

⚠ 注意 カイモノを入れないと、枠がぐらつき、丁番が破損したり、壁と枠の間にスキマが発生する恐れがあります。

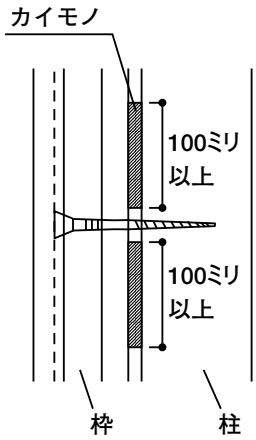
⇩

⑦枠の前後、左右のたわみがない様に調整後カイモノをして、残りの枠調整ビスで本固定してください。



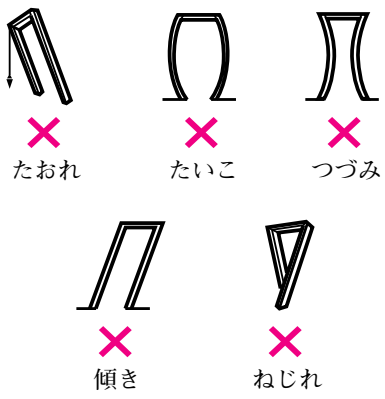
①②③④部分のカイモノは下図のようにビスの上下に入れてください。

⚠ 必ずカイモノに木工ボンド（現場手配）を塗ってください。



⚠ 注意

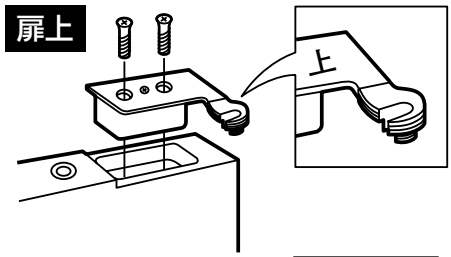
枠の水平・垂直を必ず確認してから取り付けてください。扉が閉まらない原因となります。

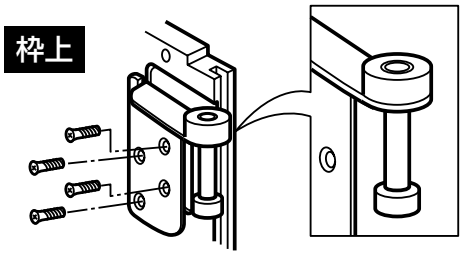


’09. 08. 04

2　扉の吊り込み

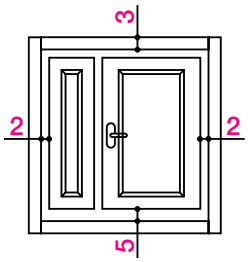
①扉に扉側丁番を枠に枠側丁番を同梱のネジで取り付けてください。
（扉側用M6×35、枠側用M4×23）

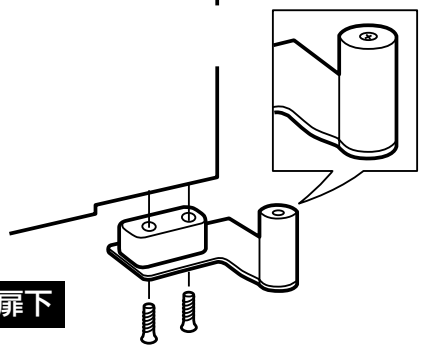




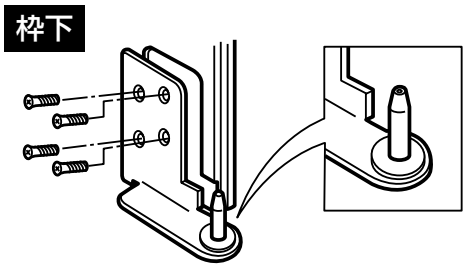
⚠ 注意
丁番の上用・下用を間違えないようご注意ください。

⚠ 注意
扉と枠の隙間が下記の寸法になっているか確認し、大きく違う場合は枠の建てつけ調整を再度行ってください。



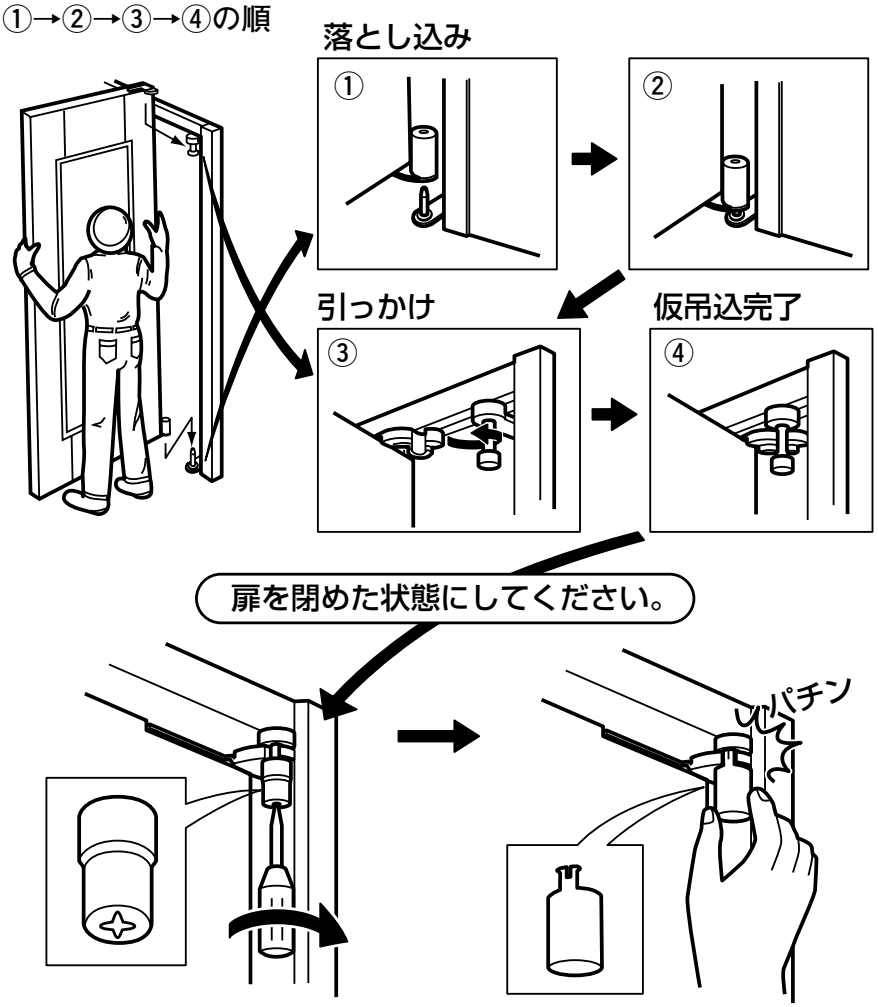


⚠ 注意　全てのネジを取り付けた後再度増し締めをしてください。

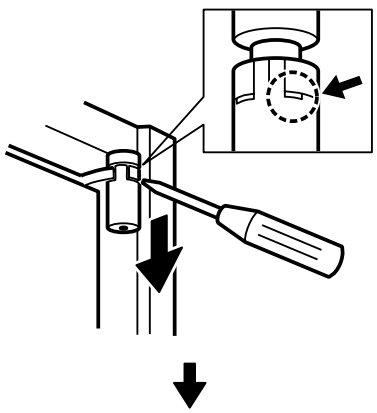


※扉側丁番取付後は若干ガタツキがありますが、製品仕様上の問題はありません。

②扉を枠に吊り込んでください。（吊り込みは扉を90°開いた状態で行います。）
①→②→③→④の順



※扉を取り除すとき
下図のように樹脂キャップ突起部の横にある溝にマイナスドライバーを差し込んで下に押し下げてください。
※キャップを傷つけないように少しずつ下に押し下げてください。



吊り込みと逆の順序で扉を取り外してください。

3　レバーの取り付け

把手座とレバーハンドルを取り付けてください。
取付方法は把手セットに同梱の取付説明書をご覧ください。

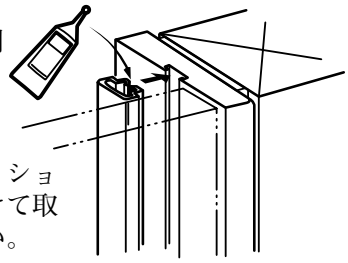
’09. 08. 04

4 戸当りの取付

戸当りを枠のサイズに合わせてカットしドア枠に接着してください。

（必ず接着剤を使用してください。）

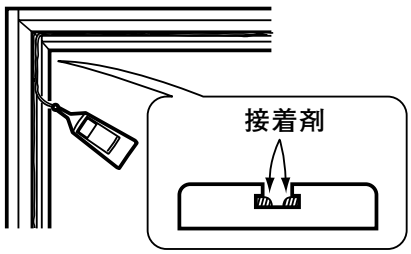
戸当り用専用接着剤（同梱品）



※横用戸当りはクッションをドア側に向けて取り付けてください。

⚠ 注意 接着剤がまんべんなくゆきわたるように下図のように塗布してください。
接着剤の量が少ないと扉の開閉時に戸当りがはずれるおそれがあります。

※枠溝に縦2本接着剤を塗布してください。



※戸当りは長めになっていますので縦勝ち、横勝ちのいずれにでも施工できます。

5 丁番の調整

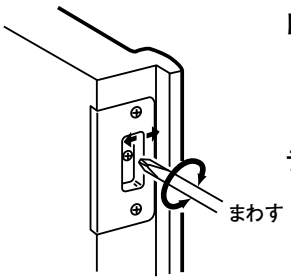
裏面左上に記載しています。必ず調整を行ってください。

6 ラッチ受の調整

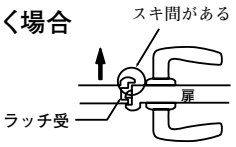
扉がガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーで調整ラッチ受座を調整してください。

調整ラッチ受座の操作方法（調整可能範囲5mm）

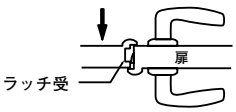
※扉間のスキマが広すぎないか（標準5mm）確認し、調整してください。



ドアがガタつく場合



ラッチがかからない場合



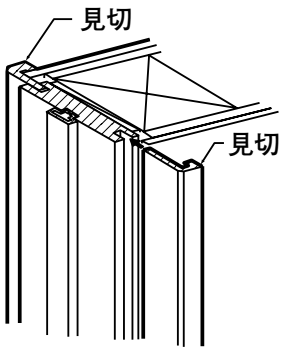
7 見切の取付

見切枠の場合

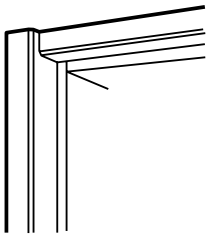
壁の施工が終了してから、見切を取付けてください。

⚠ 見切に接着剤（木工ボンド）を塗布してください。

※見切は現場にて現物合せしてカットしてください。



縦勝ちの納めになっています。



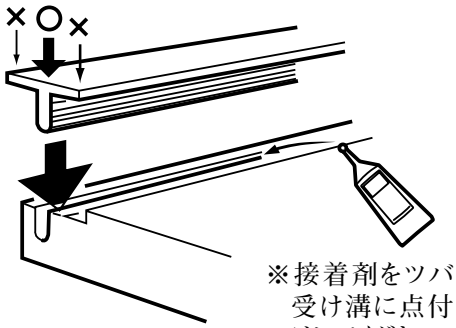
8 T型エッジの取付

T型エッジ沓摺の場合 T型エッジをツバ受けに差し込んでください。

T型エッジは長めで同梱されていますので枠内寸法にカットして使用してください。

※T型エッジのまん中を押してはめこんでください。

※T型エッジを差し込む場合は床面との隙間が出ない様に施工してください。
隙間がある場合、T型エッジが割れる場合があります。

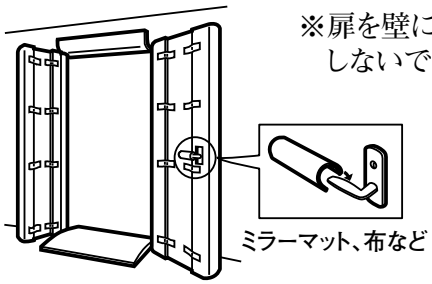


※接着剤をツバ受け溝に点付けしてください。

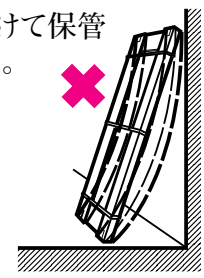
9 養　生

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。その際、養生テープを沓擦に直貼り使用すると、塗装が剥がれる事がありますので、直接貼らないようにしてください。

金具は布・ミラーマットなどで養生してください。



※扉を壁にたてかけて保管しないでください。

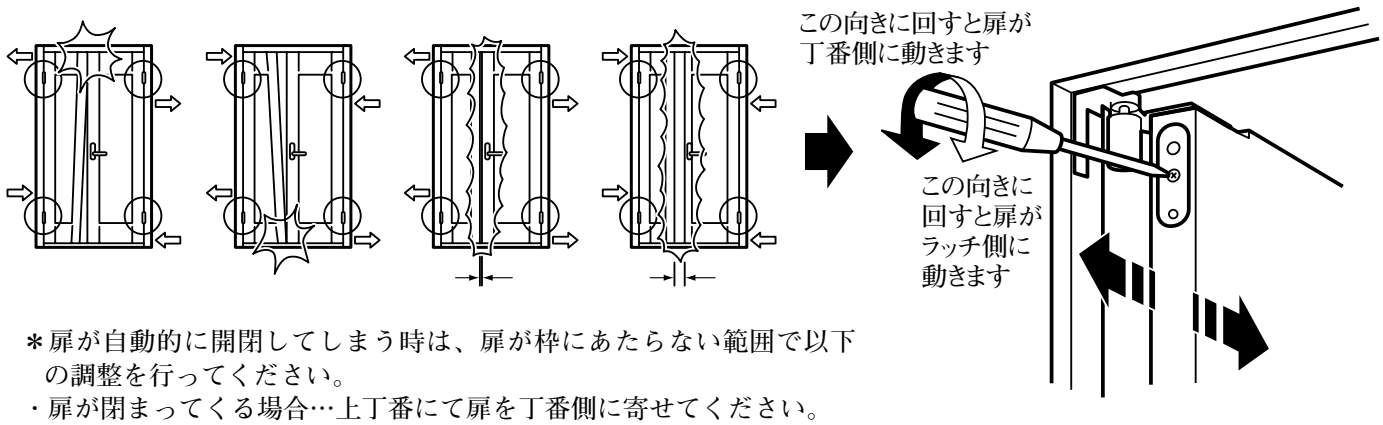


’09. 08. 04

5 丁番の調整

扉を開閉して、扉があたる場合は、調整丁番にて扉の傾きを調整してください。

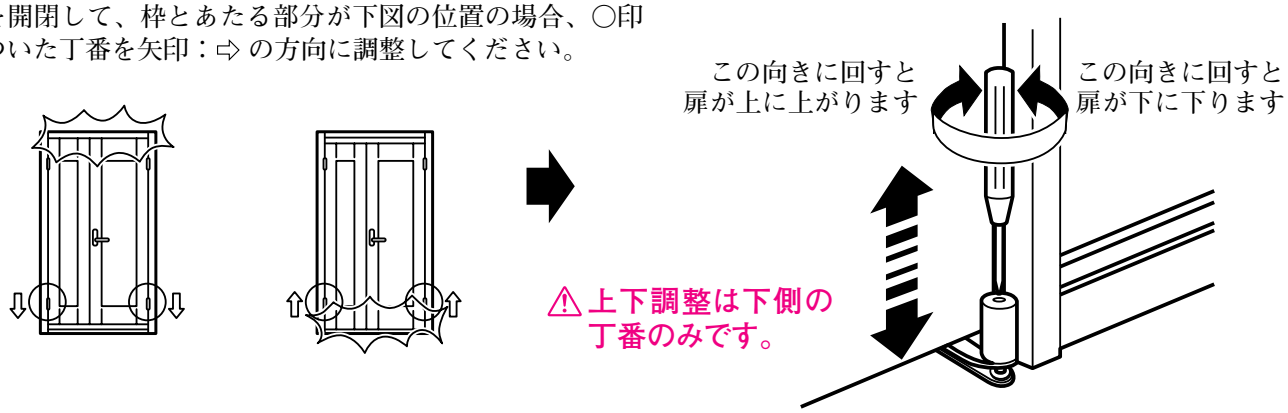
左右方向の調整（調整可能範囲4mm）　扉を開閉して、枠とあたる部分が下図の位置の場合、○印のついた丁番を矢印：⇨ の方向に調整してください。



＊扉が自動的に開閉してしまう時は、扉が枠にあたらない範囲で以下の調整を行ってください。
・扉が閉まってくる場合…上丁番にて扉を丁番側に寄せてください。
・扉が開いてくる場合……上丁番にて扉をラッチ側に寄せてください。

上下方向の調整（調整可能範囲6mm）

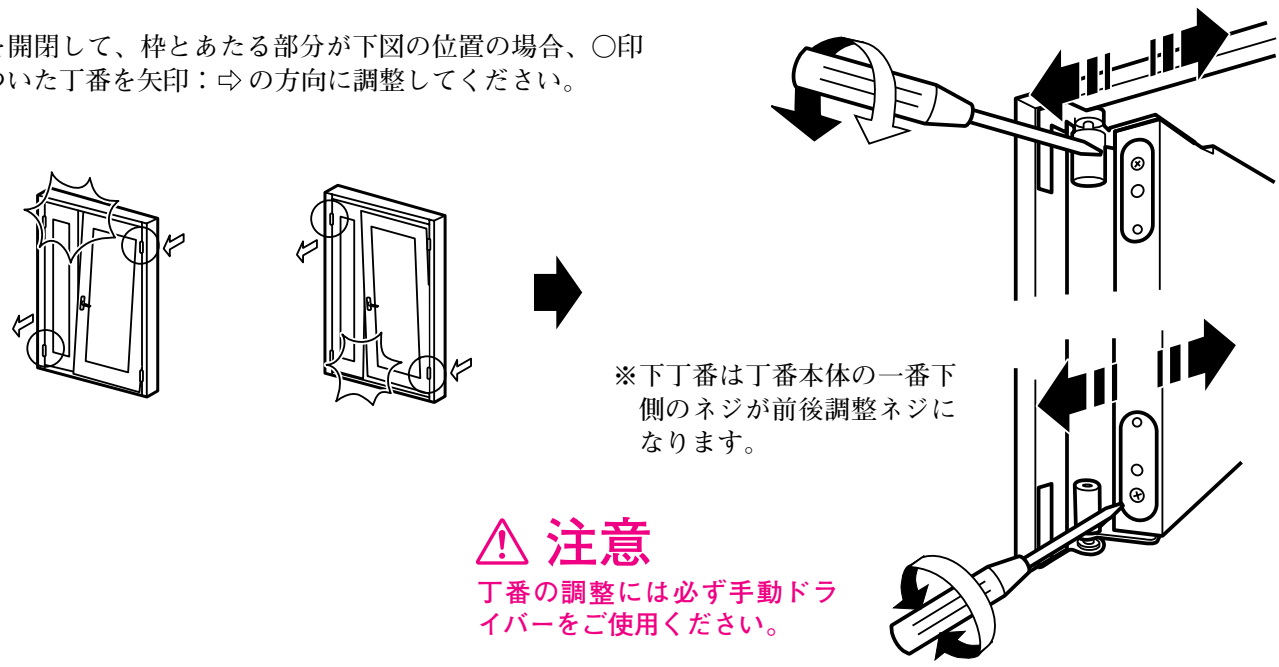
扉を開閉して、枠とあたる部分が下図の位置の場合、○印のついた丁番を矢印：⇨ の方向に調整してください。



⚠上下調整は下側の丁番のみです。

前後方向の調整（調整可能範囲4mm）

扉を開閉して、枠とあたる部分が下図の位置の場合、○印のついた丁番を矢印：⇨ の方向に調整してください。



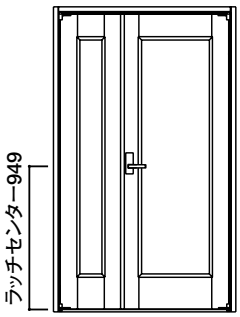
※下丁番は丁番本体の一番下側のネジが前後調整ネジになります。

⚠ **注意**
丁番の調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。

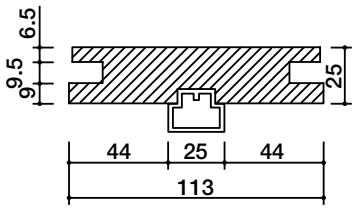
’09. 08. 04

見切枠タイプ寸法図

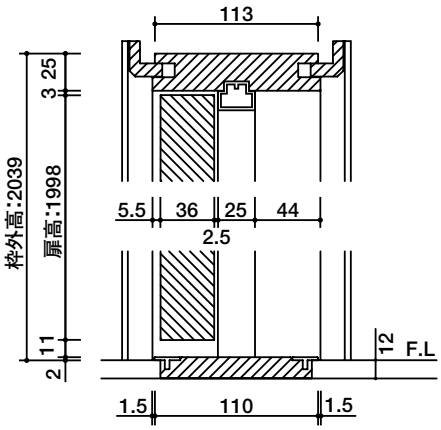
親子ドア寸法図

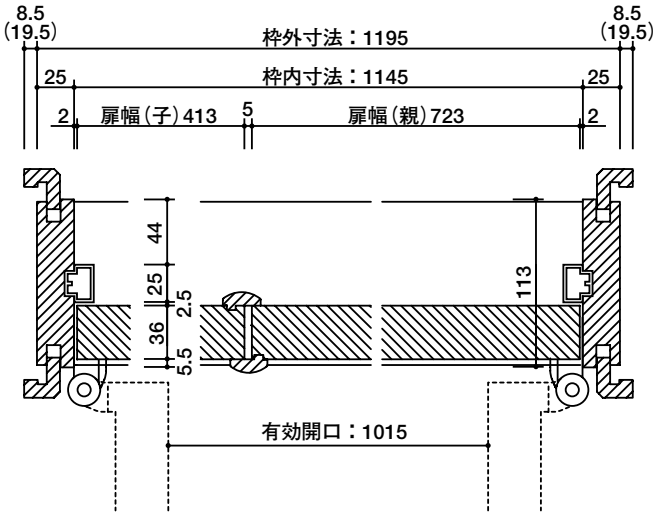


縦枠・上枠断面図



図は見切B～E使用の場合
（ ）は見切Aの場合



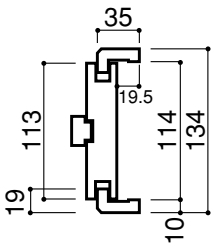


※図はT型エッジ沓摺の場合
※ピボット丁番の場合、床埋めこみ施工はできません。

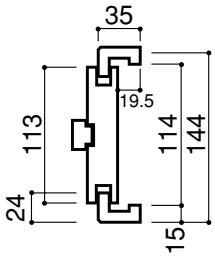
見切枠壁厚対応

見切A（シンプル）壁厚114mm

横　用

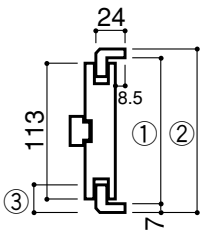


縦　用

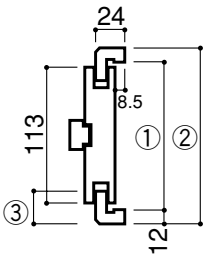


見切B～E（シンプル）壁厚114mm～185mm

横　用



縦　用

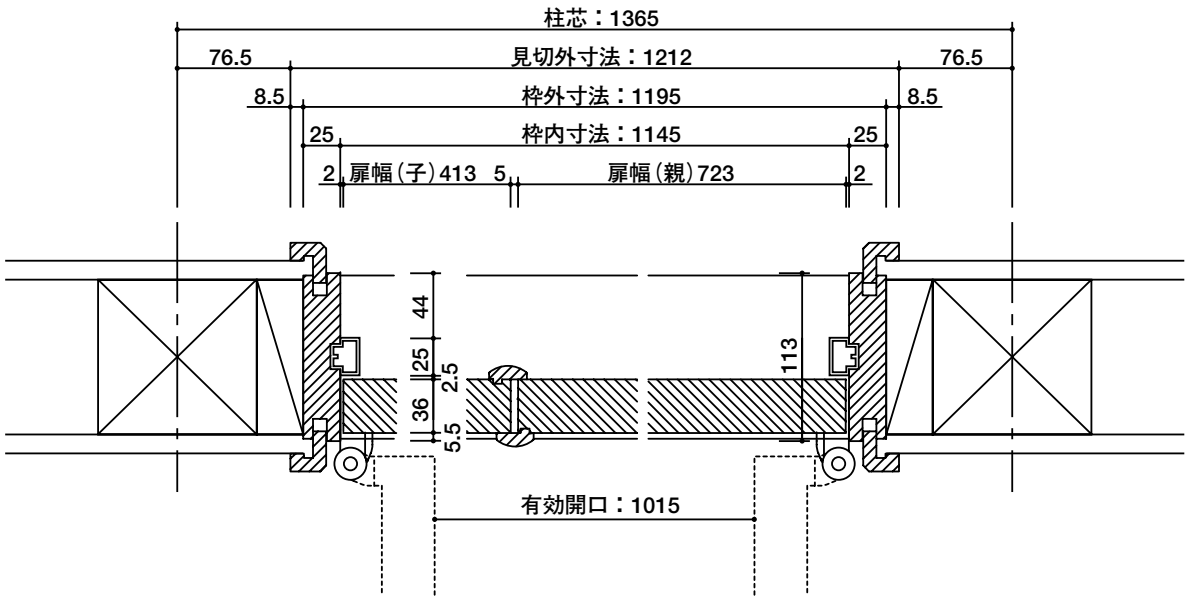


見　切		B	C	D	E
①壁厚		114～131	131～149	149～167	167～185
②枠外寸	横用	128～145	145～163	163～181	181～199
	縦用	138～155	155～173	173～191	191～209
③見切サイズ	横用	22	31	40	49
	縦用	27	36	45	54

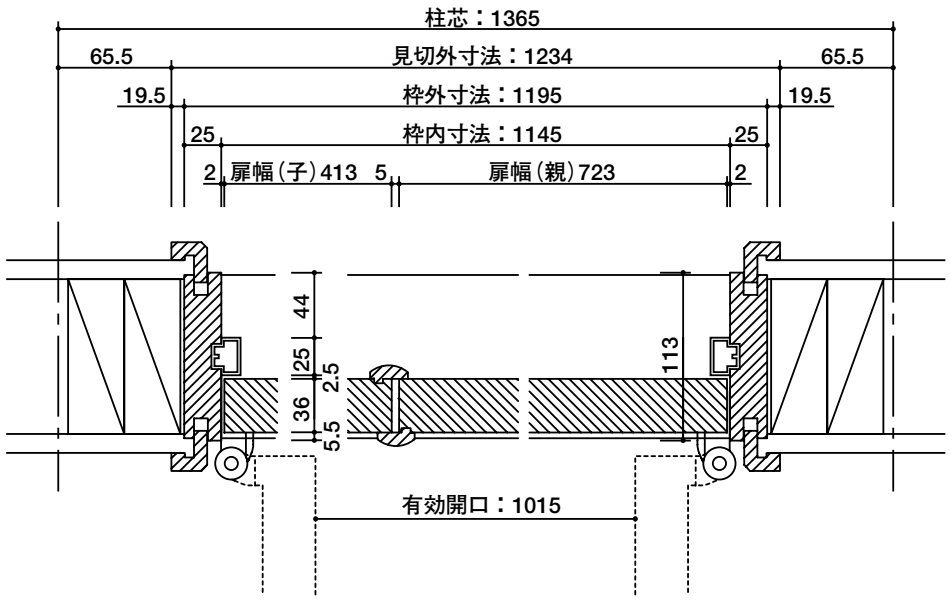
’09. 08. 04

親子ドアのモジュール納まり

在来工法の場合
（見切B～Eの場合）



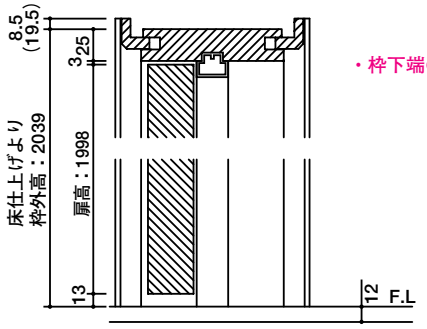
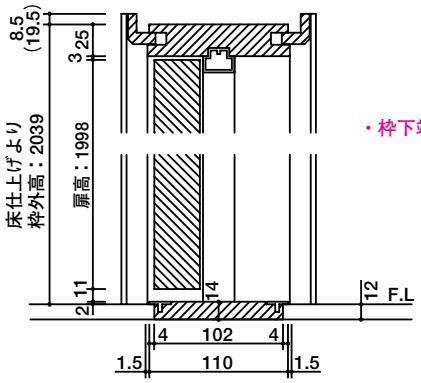
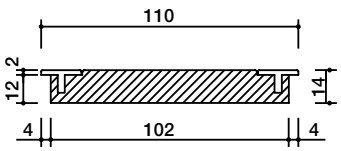
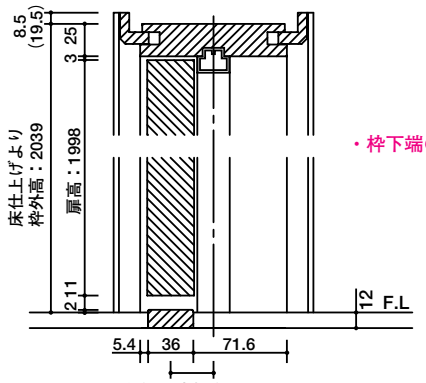
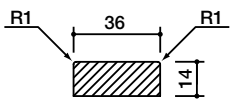
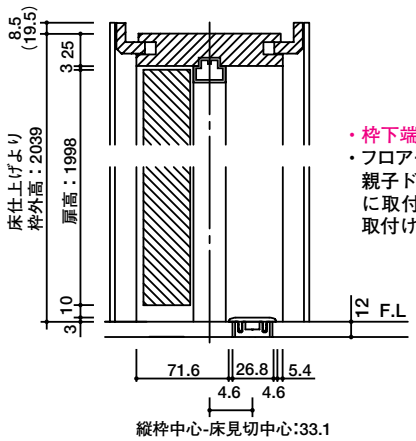
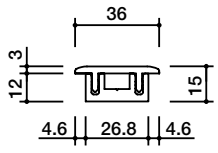
2×4工法の場合
（見切Aの場合）



※枠は床に上のせにて施工してください。

親子ドア　縦断面図

〈　〉は1800高タイプの場合
図は見切B～E、フロア12㎜を使用の場合。(　)は見切Aを使用の場合。

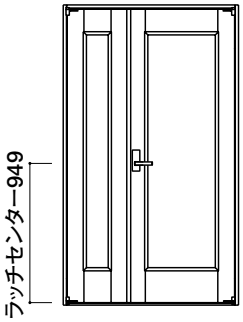
	全て換気経路になります	沓摺断面図
沓摺を使用しない場合	 ・枠下端のカットはししないでください。	―――
T型エッジ親子沓摺	 ・枠下端のカットはししないでください。	
薄型沓摺	 縦枠中心-沓摺中心:33.1 ・枠下端のカットはししないでください。	
床見切	 縦枠中心-床見切中心:33.1 ・枠下端のカットはししないでください。 ・フロアーは28～30mmを目安にあけてください。 親子ドアの場合、フランス落とし受けを床見切に取付できないので、床見切は扉と反対側へ取付けてください。	

’09. 08. 04

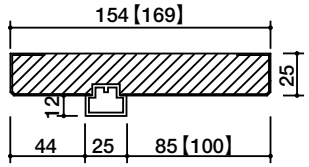
固定枠154/169タイプ

親子ドア寸法図

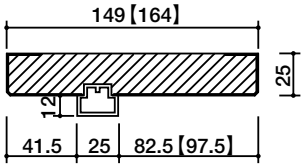
【　】は見込169タイプの場合

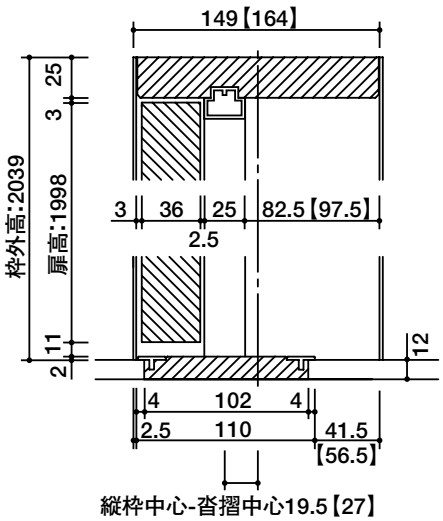


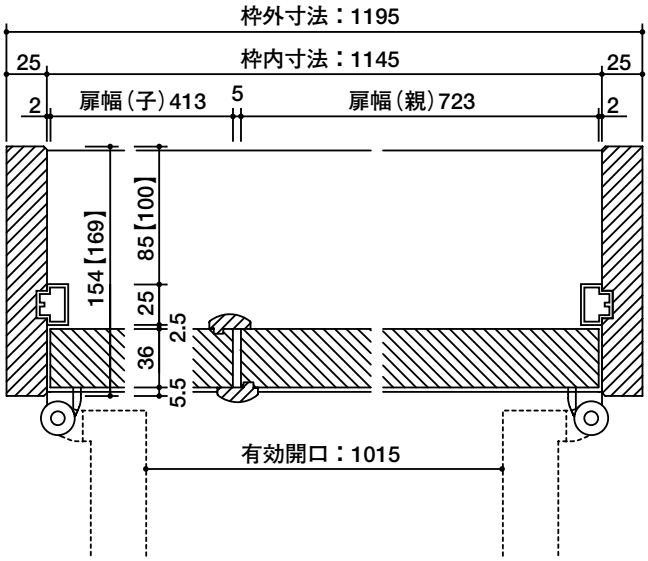
縦枠断面図



上枠断面図





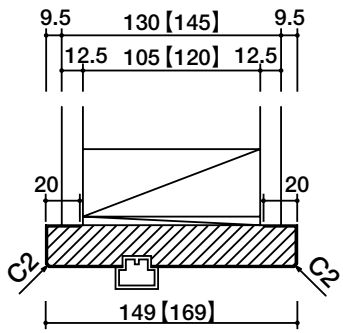


注）固定枠154と169で納まりが異なります。

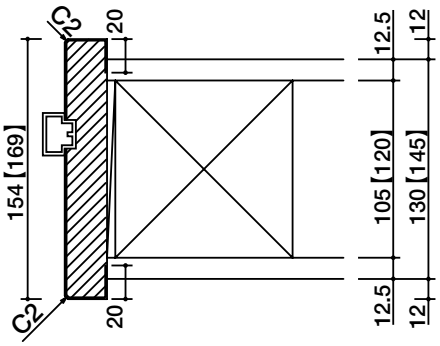
固定枠154/169壁厚納まり

図は壁厚130㎜の場合
【　】は壁厚145mmの場合

上 枠



縦 枠



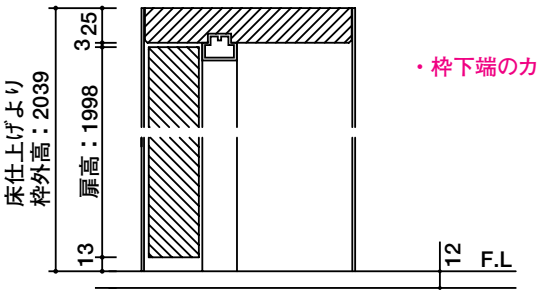
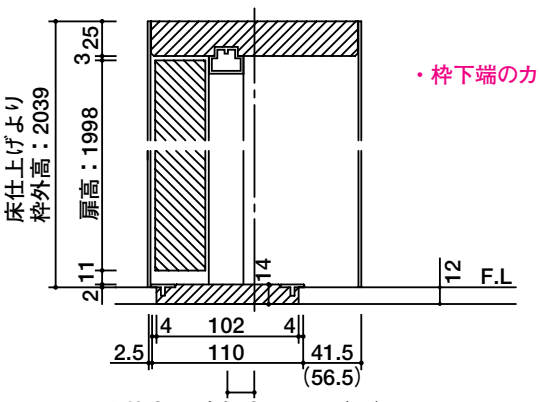
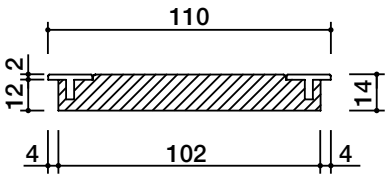
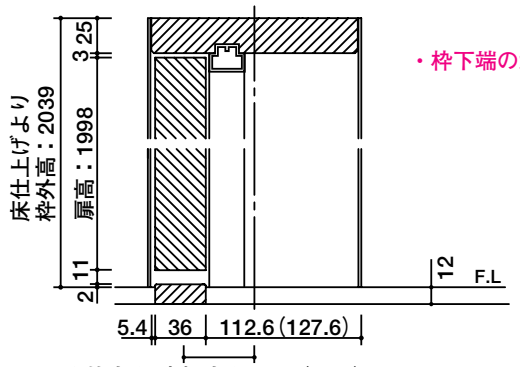
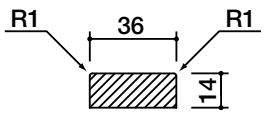
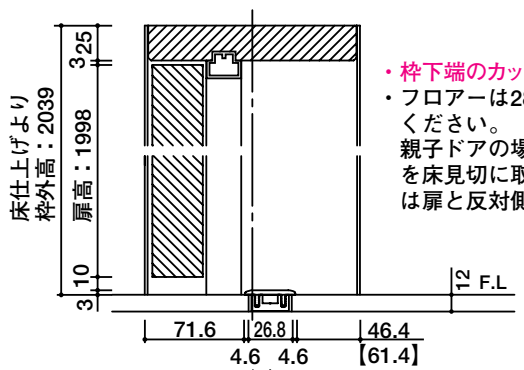
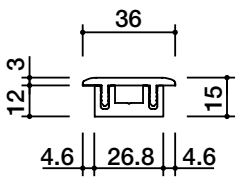
注）固定枠は枠裏面へ20㎜シートを巻き込んでいます。

’09. 08. 04

※枠は床に上のせにて施工してください。

親子ドア　縦断面図

（　）は見込169タイプの場合

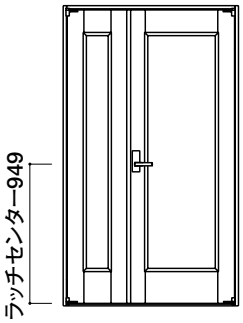
	全て換気経路になります	沓摺断面図
沓摺を使用しない場合	 ・枠下端のカットはしないでください。	―――
T型エッジ親子沓摺	 ・枠下端のカットはしないでください。 縦枠中心-沓摺中心：19.5（27）	
薄型沓摺	 ・枠下端のカットはしないでください。 縦枠中心-沓摺中心：53.6（61.1）	
床見切	 ・枠下端のカットはしないでください。 ・フロアーは28～30mmを目安にあけてください。 親子ドアの場合、フランス落とし受けを床見切に取付できないので、床見切は扉と反対側へ取付けてください。 縦枠中心-床見切中心：12.6【5.1】	

’09. 08. 04

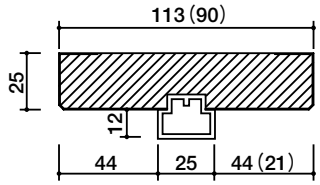
薄壁枠タイプ

親子ドア寸法図

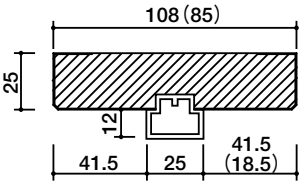
（　）は枠幅90㎜タイプの場合

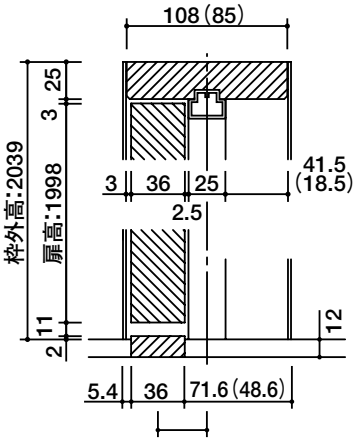


縦枠断面図

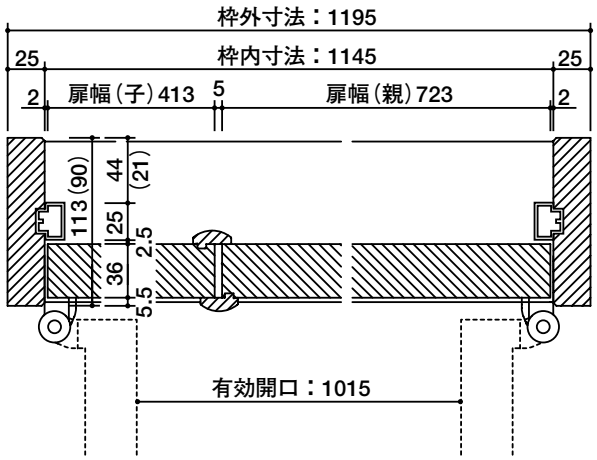


上枠断面図

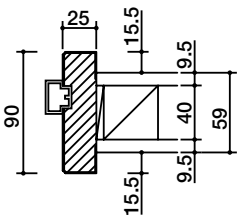
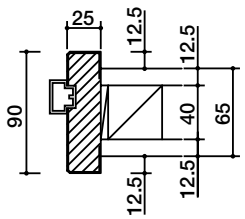
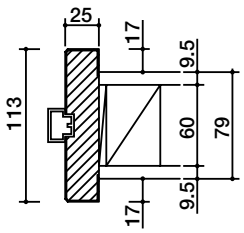
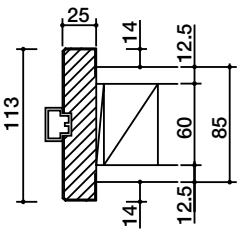
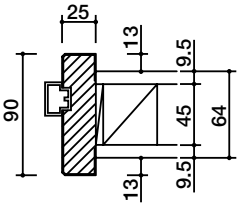
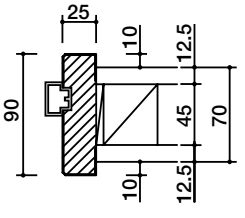
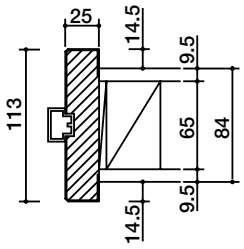
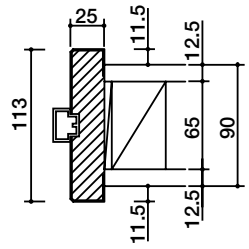
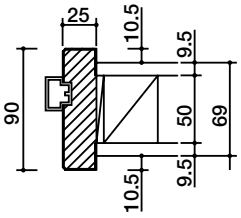
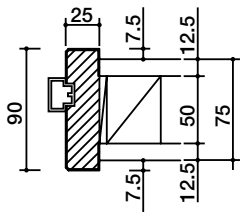


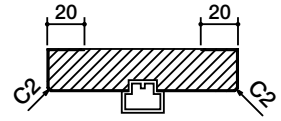


縦枠中心-沓摺中心:33.1（21.6）



薄壁枠　壁厚納まり

	9.5mmボード	12.5mmボード		9.5mmボード	12.5mmボード
スタッド40mm			スタッド60mm		
スタッド45mm			スタッド65mm		
スタッド50mm					



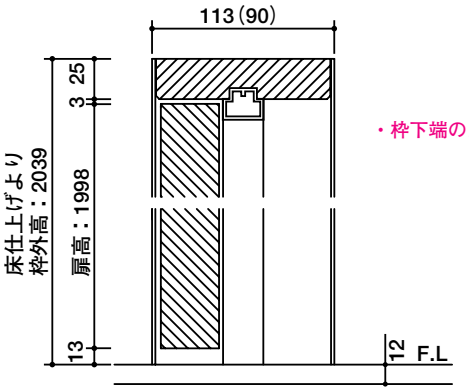
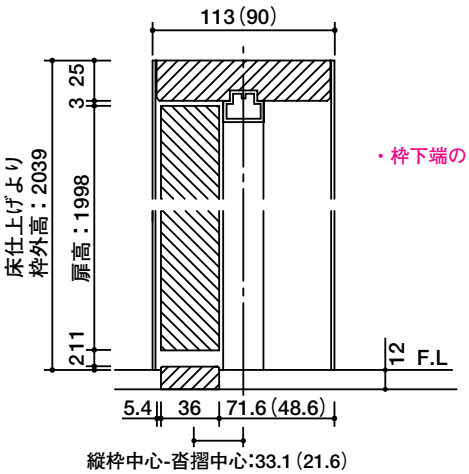
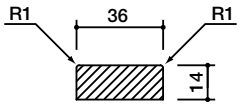
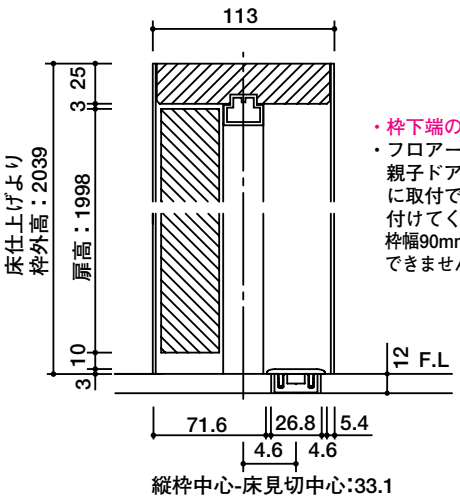
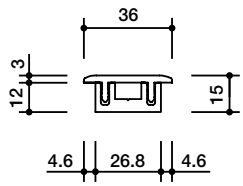
固定枠は枠裏面へ20mmシートを巻き込んでいます。

’09. 08. 04

※枠は床に上のせにて施工してください。

縦断面図

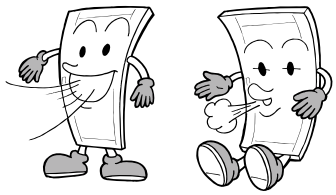
（　）は枠幅90㎜タイプの場合

	全て換気経路になります	沓摺断面図
沓摺を使用しない場合	 ・枠下端のカットはしないでください。	――
薄型沓摺	 ・枠下端のカットはしないでください。	
床見切	 ・枠下端のカットはしないでください。 ・フロアーは28～30mmを目安にあけてください。 親子ドアの場合、フランス落とし受けを床見切に取付できないので、床見切は扉と反対側へ取付けてください。 枠幅90mmタイプの場合、床見切を取付けることができません。	

木質材料の性質について

木質ドアの「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた内装ドアは、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は内装ドア周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、内装ドアの室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。



「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、内装ドアに直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。

②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。

③内装ドアに直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は室内側と室外側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

リビングドア

■保証期間

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合

②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合

③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合

④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合

⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など

⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合

⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責によらない場合

ご相談窓口について ●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

製品に関するお問い合わせご相談

DAIKENお客様相談室

0120-787-505

（フリーダイヤル）

● 携帯・PHSからは TEL 06-6452-6000へお電話ください。

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理に関するお問い合わせご相談

ダイケンサービス株式会社

06-6452-6032

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。

http://www.daiken.jp/service/

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶ ▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い

大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

北海道営業部	☎ 011-856-2202	松本営業所	☎ 0263-40-0370	名古屋営業所	☎ 052-205-5811	山口事務所	☎ 083-974-0303
札幌営業所	☎ 011-856-2202	北関東営業部	☎ 028-621-6431	三河事務所	☎ 0564-65-8681	広島特販営業所	☎ 082-505-2525
函館事務所	☎ 0138-47-7191	宇都宮営業所	☎ 028-621-6431	岐阜事務所	☎ 058-246-6752	岡山営業所	☎ 086-262-2271
札幌特販営業所	☎ 011-856-2202	宇都宮特販営業所	☎ 028-621-6431	名古屋特販営業所	☎ 052-205-5811	岡山特販営業所	☎ 086-262-2271
旭川営業所	☎ 0166-24-1377	埼玉営業所	☎ 048-669-0660	浜松営業所	☎ 053-458-5751	四国営業部	☎ 087-866-8500
帯広事務所	☎ 0155-25-8421	熊谷事務所	☎ 048-527-5601	三重営業所	☎ 059-226-7073	高松営業所	☎ 087-866-8500
東北営業部	☎ 022-243-6621	群馬営業所	☎ 027-364-9811	北陸営業部	☎ 076-262-3211	高知事務所	☎ 088-885-6202
盛岡営業所	☎ 019-636-1161	首都圏営業部	☎ 03-5386-5957	金沢営業所	☎ 076-262-3211	高松特販営業所	☎ 087-866-8500
秋田事務所	☎ 018-862-4441	東京営業所	☎ 03-5386-5957	富山事務所	☎ 076-429-7250	松山営業所	☎ 089-945-8569
盛岡特販営業所	☎ 019-636-1161	山梨事務所	☎ 055-275-7931	福井事務所	☎ 0776-26-8508	徳島営業所	☎ 088-622-6261
仙台営業所	☎ 022-243-6621	横浜営業所	☎ 045-983-2332	北陸特販営業所	☎ 076-262-3211	九州営業部	☎ 092-413-2345
山形事務所	☎ 023-632-2711	厚木事務所	☎ 046-222-1535	近畿営業部	☎ 06-6915-7002	福岡営業所	☎ 092-413-2345
仙台特販営業所	☎ 022-243-6621	多摩営業所	☎ 042-571-3434	大阪営業所	☎ 06-6915-7041	北九州事務所	☎ 093-522-1224
青森営業所	☎ 017-729-2201	水戸営業所	☎ 029-248-8511	和歌山事務所	☎ 073-473-8090	長崎事務所	☎ 0957-35-0161
[八戸事務所]	☎ 0178-70-7318	つくば事務所	☎ 029-849-2344	大阪特販営業所	☎ 06-6915-7041	大分事務所	☎ 097-533-8701
郡山営業所	☎ 024-946-7211	千葉営業所	☎ 043-287-8491	兵庫営業所	☎ 078-321-1822	福岡特販営業所	☎ 092-413-2345
信越営業部	☎ 026-222-6311	我孫子事務所	☎ 04-7183-4070	（姫路駐在）	☎ 0792-24-8860	熊本営業所	☎ 096-372-5211
新潟営業所	☎ 025-285-5887	静岡営業所	☎ 054-288-3881	京都営業所	☎ 075-341-8151	南九州特販営業所	☎ 096-372-5211
新潟特販営業所	☎ 025-285-5887	首都圏住宅営業部	☎ 03-3249-4850	沖縄営業所	☎ 098-879-4916	鹿児島営業所	☎ 099-254-8300
長野営業所	☎ 026-222-6311	首都圏集合住宅営業部	☎ 03-5386-5974	中国営業部	☎ 082-505-2525	宮崎事務所	☎ 0985-26-5908
長野特販営業所	☎ 026-222-6311	首都圏リモデル営業部	☎ 03-3249-4802	広島営業所	☎ 082-505-2525	西部住宅営業部	☎ 06-6452-6231
長岡営業所	☎ 0258-33-5734	中京営業部	☎ 052-205-5811	福山事務所	☎ 084-924-7196		

2008.08 現在

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス　http://www.daiken.jp/

’09. 08. 04